



株式会社平和堂

会社説明会

東証プライム 8276

2026年6月13日

本日本話しする内容

1. 会社概要
2. 業績の推移
3. 第5次中期経営計画
4. サステナビリティビジョンと取組み
5. 株主還元

1. 会社概要

会社概要

社名	株式会社 平和堂
所在地	〒522-8511滋賀県彦根市西今町1番地
設立	1957年6月
資本金	116億1,437万9千円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
従業員数	13,374名※2026年2月時点パート・アルバイトは8時間換算の期中平均
事業内容	食料品、衣料品、日用雑貨品、携帯電話等の総合小売業 旅行、保険、銀行等の代理業及び店舗賃貸業等
店舗数	170店舗※2026年2月20日時点
連結子会社	11社 ※2026年2月20日時点

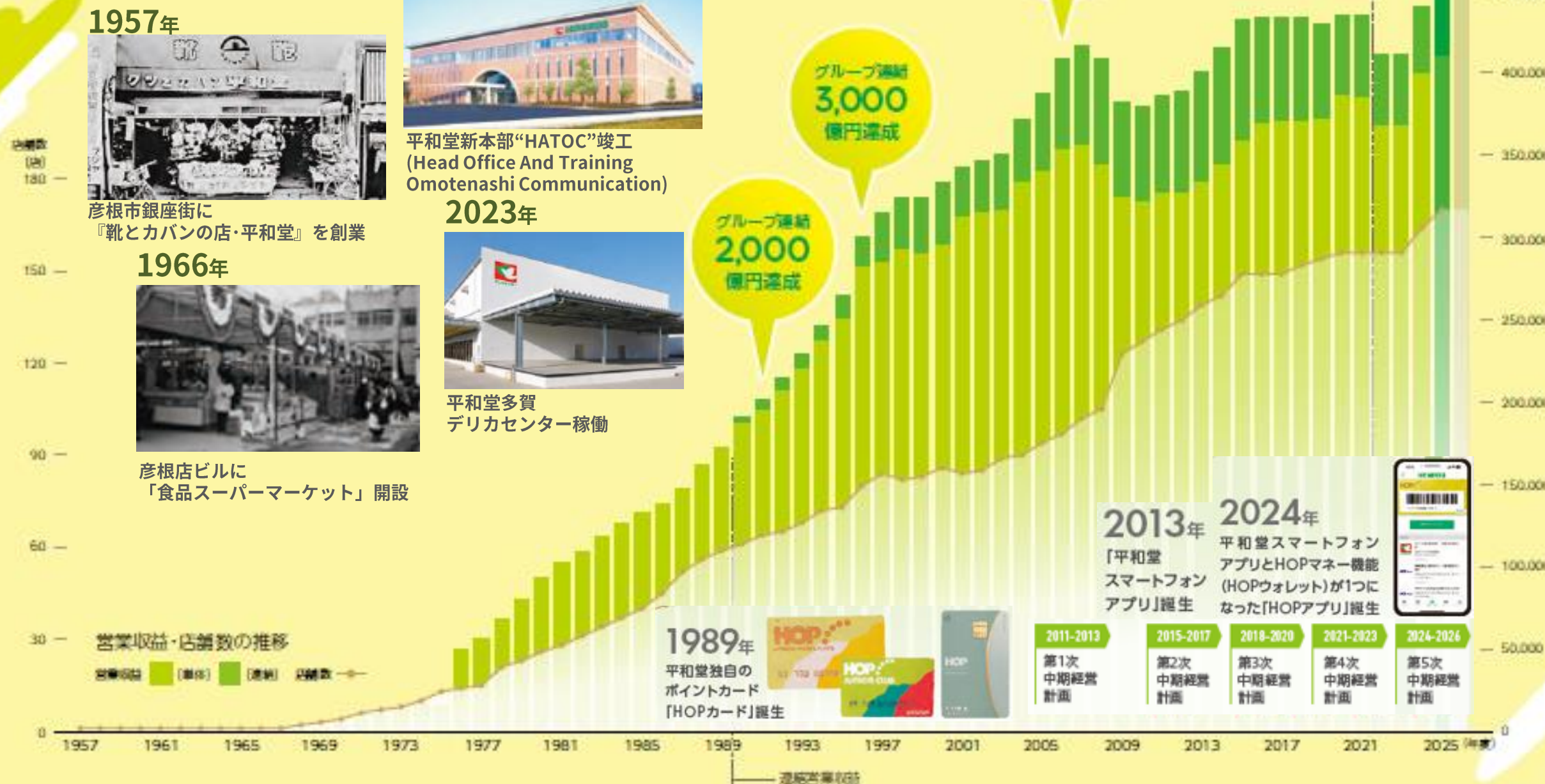


平和堂イメージキャラクター
「はとっぴー」

平和堂の紹介 ～歴史と業績の推移～

平和堂の業績の推移

平和堂は、消費者の生活防衛意識が高まる中、頻度品を中心とした戦略的な価格設定や生鮮品の差別化を進める「食品FMT改革」を展開してきました。その結果、客単価の向上と既存店の好調により、連結営業収益は過去最高を更新。物流・人件費等のコスト上昇を吸収しつつ、ドミナント戦略に基づく「HOP経済圏」の拡大を通じて、持続可能な収益構造の確立を加速させています。



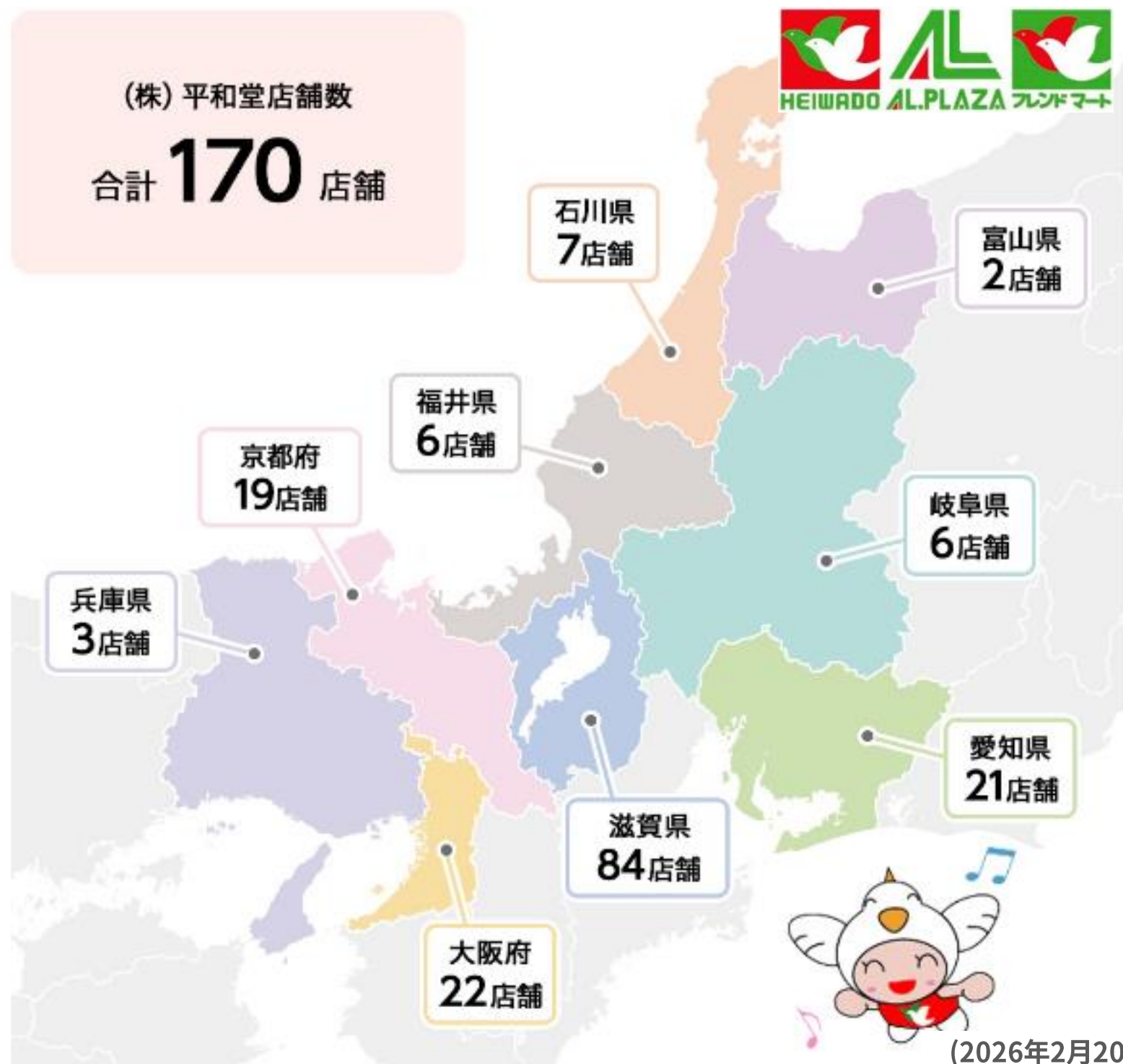
1957年に滋賀県彦根市に「靴とカバンの店・平和堂」創業以来、化粧品、衣料、食品等取扱品目を増やし、総合店として滋賀県中心に2府7県に出店エリアを拡大

平和堂は創業以来、豊かな暮らしと文化生活の向上に貢献し、より多くのお客様にとって「なくてはならないお店」を目指して歩んできました

平和堂の紹介 ～単体の店舗展開～



ショッピングセンター、スーパーマーケットを京阪神、北陸、東海に展開
売場面積 500㎡から65,000㎡の様々な店舗



■滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県

大型ショッピングセンター（アル・プラザ）を中心に、
中型GMS、食品スーパー（フレンドマート）を配置

- ▶ 各地域の中でより高いシェアの獲得を目指し、
現在は大阪北摂エリアを出店強化エリアとしている

■北陸(福井県、石川県、富山県)

大型ショッピングセンター（アル・プラザ）を中心に展開
衣料品、住居関連品を品揃えし、お買い物以外のサービスも提供

- ▶ 先日改装オープンしたアル・プラザ小松では、書籍を中心にジ
ム&スタジオや雑貨、コミュニティスペースを開設

■東海(岐阜県、愛知県)

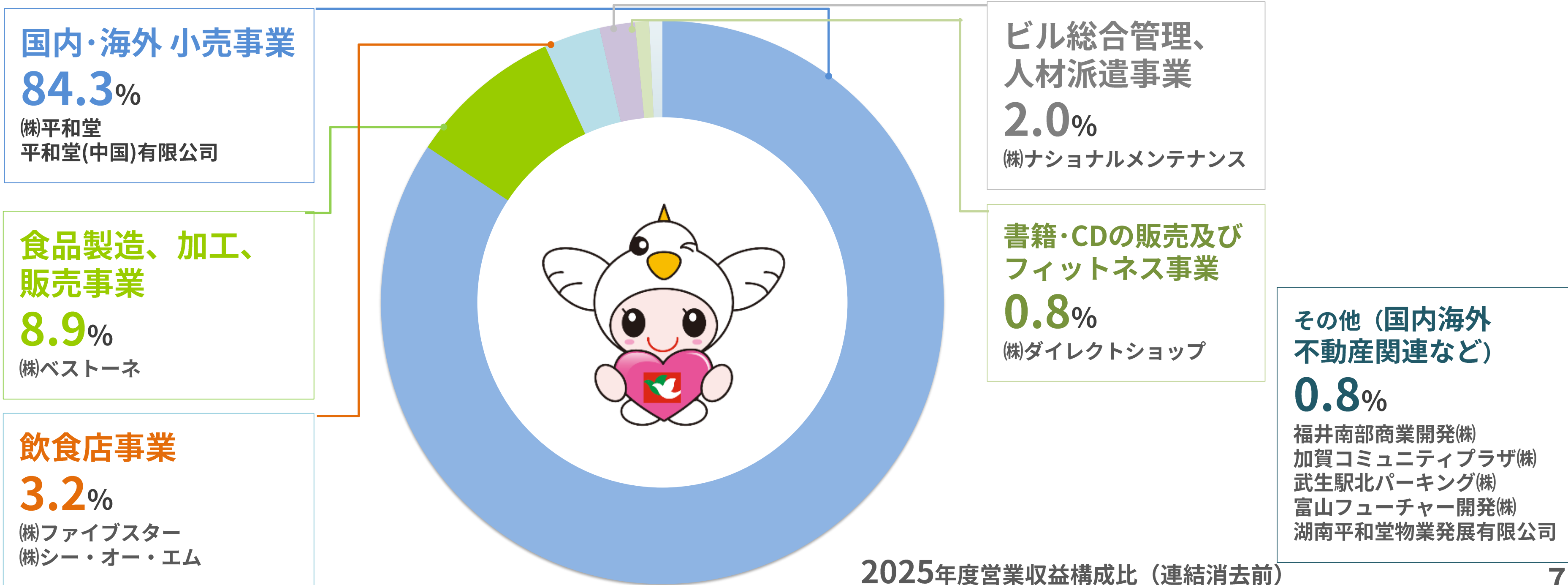
食品スーパーを中心に展開し、NSC型店舗にて集客効果高める

- ▶ 現在は愛知県を出店強化エリアとしている

NSCとは…食品スーパーを核として10～20店舗のテナントを
要する近隣型ショッピングセンター

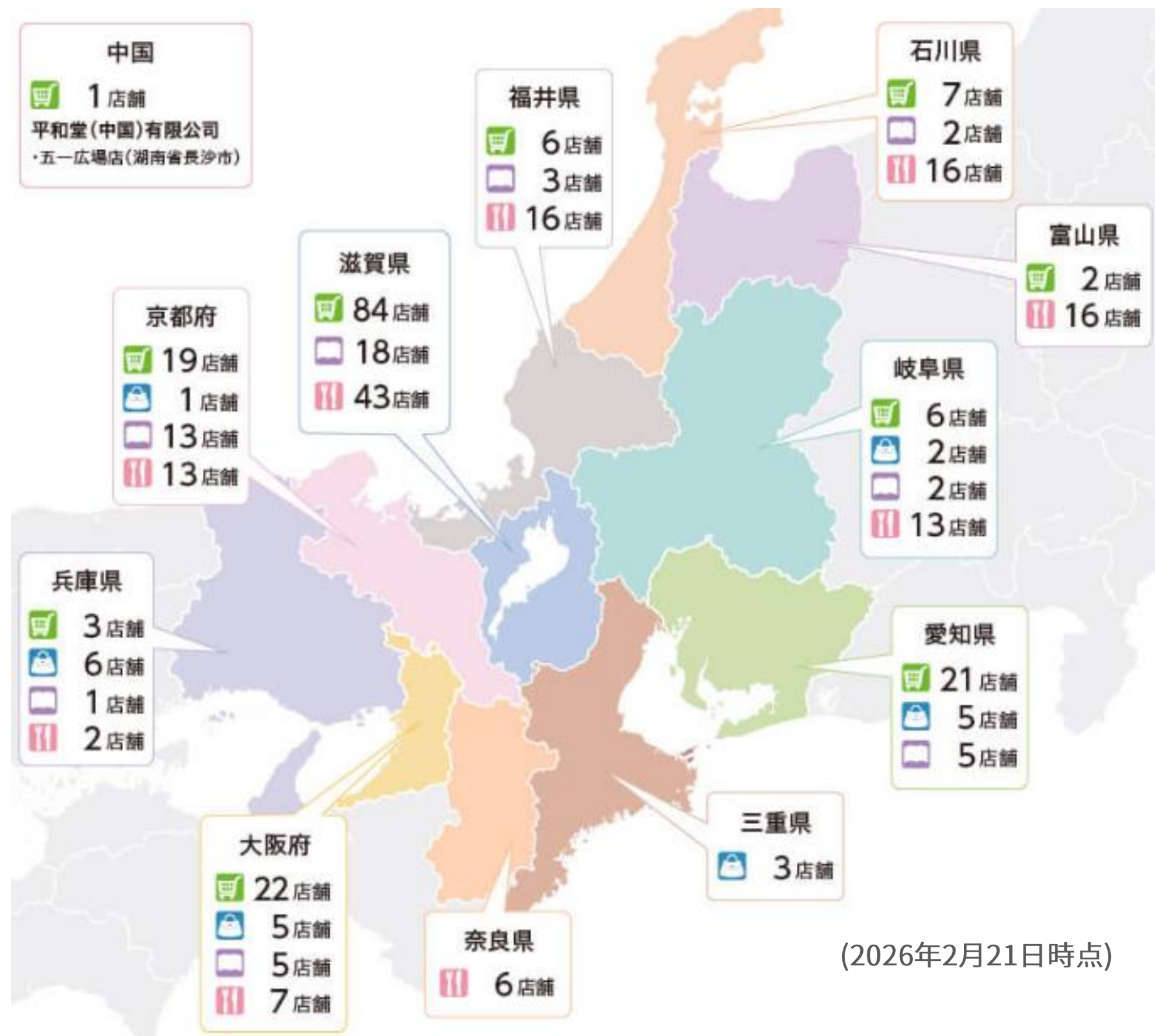
平和堂の紹介 ～グループの事業構成～

平和堂グループは
グループ憲章「全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに、お客様と地域社会に
貢献し続ける企業となる」を理念に掲げ事業を展開しています



平和堂の紹介 ～グループ全体の店舗展開～

2府9県に、小売事業、飲食業、書店業、フィットネス事業等、多様な業態展開



(2026年2月21日時点)

小売業

(株)平和堂	170店舗
平和堂(中国)有限公司	1店舗

ショップ型店舗

(平和堂・エールの建物外への出店ショップ)

※ショップ型店舗とは…

株式会社平和堂直営のオリジナルセレクトショップで、専門店・商業施設等へテナント出店している店舗

> CoCoRo Plus	18店舗
> kids fest	2店舗
> GOODS DEPO	2店舗

書籍・CD・DVDの販売、レンタル業、フィットネス

(株)ダイレクト・ショップ	2店舗
・TSUTAYA	29店舗
・平和書店	18店舗
・エニタイムフィットネス	18店舗

飲食店

(株)ファイブスター	76店舗
・ファミリーレストランCOCO'S	9店舗
・すし処海座	2店舗
・いちおしや伝五郎	2店舗
・ピソラ	29店舗
(株)シー・オー・エム	8店舗
・ケンタッキーフライドチキン	2店舗
・サーティワンアイスクリーム	2店舗
・リンガーハット	2店舗
・ピアードパ	2店舗
・ゴンチャ	2店舗

国内外合計 約370店舗

平和堂の紹介 ～東海エリアのグループ店舗展開～

東海圏内の平和堂直営店舗

アル・プラザ 1店舗、GMS 3店舗、NSC 3店舗、食品スーパー 20店舗 計27店舗

岐阜県 6店舗

アル・プラザ鶴見
高富店
穂積店
大野店
東海日野店
うぬま店

春日井市
春日井庄名店
春日井宮町店

日進市・長久手市
日進香久山店
長久手店

愛知県 21店舗

一宮市
尾西店
牛野店
木曾川店
ビバホーム一宮店

名古屋市
ビバモール
名古屋南店
名古屋元塩店
グリーンプラザ店
中小田井店
豊成店
守山小幡店

江南市・丹羽郡
江南店
扶桑店

愛知郡
ららぽーと
愛知東郷店

稲沢市
稲沢店
ニッケタウン
稲沢店
祖父江店

知多市
知多店



ココス  岐阜県 12店舗

エニタイムフィットネス  岐阜県 1店舗
愛知県 5店舗

平和書店  岐阜県 1店舗

KFC  岐阜県 1店舗

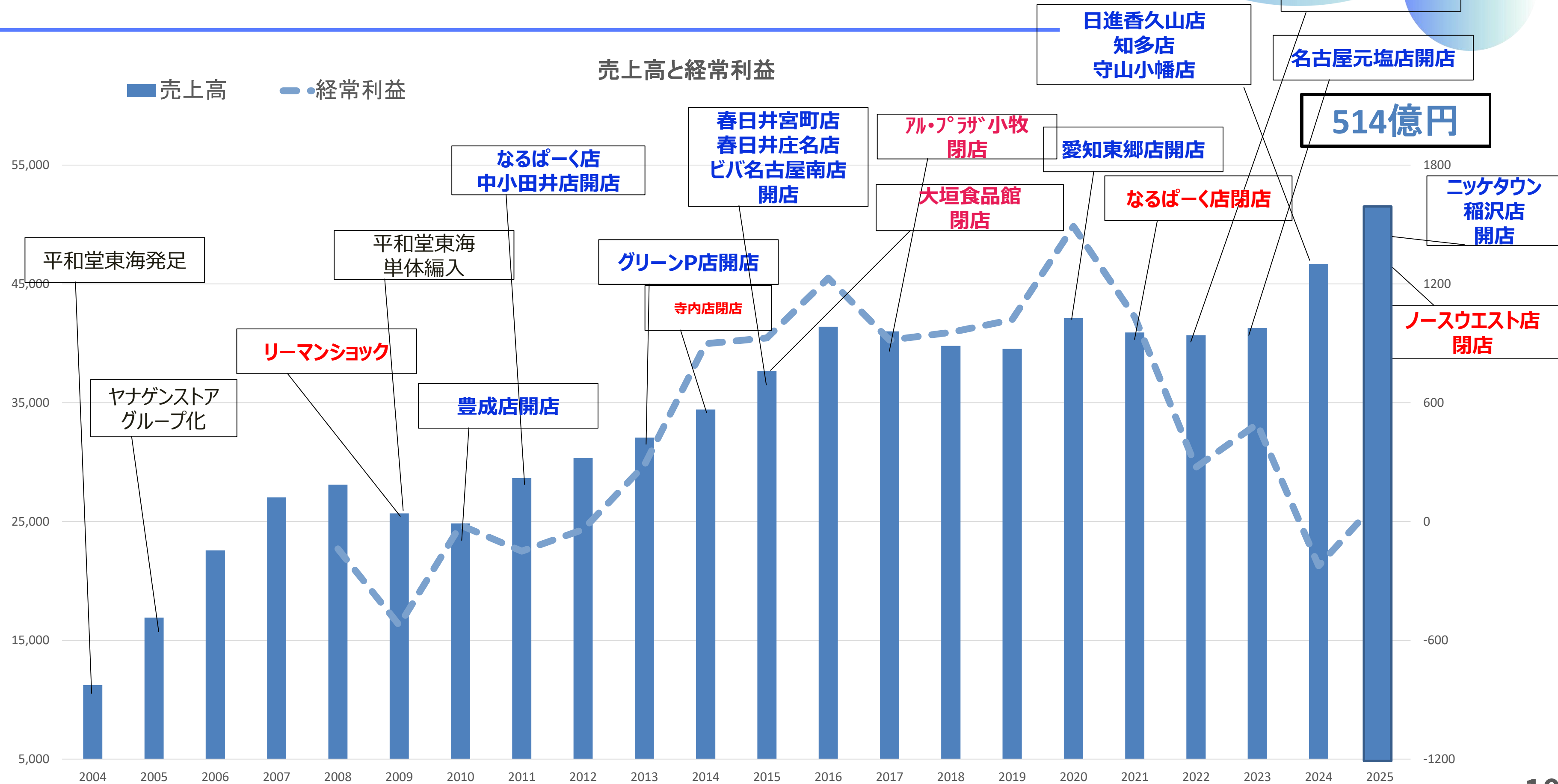
ショップ店舗
CoCoRoPlus 

岐阜 アクアウオーク大垣店
愛知 リーフウオーク稲沢店
エアポートウオーク店
イオンモール新瑞橋店
ウイングタウン岡崎店
三重 イオンタウン四日市泊
イオンタウン津城山

Kidsfest モレラ岐阜店
GOODS DEPO  リーフウオーク稲沢店

平和堂の紹介

～東海エリアの単体業績推移～



平和堂の紹介 ～平和堂の府県別食品シェア～

商圈食品スーパー内での食品売上高シェア 2025年度直近データより

近畿はGMSとSMの構成、北陸はGMS中心、愛知・岐阜はSM業態が中心

(単位：%)

滋賀県 第1位
84店舗

	シェア
平和堂	39.1
(生協)コープ滋賀	8.5
西友	5.9
イオンビッグ	5.6
バロー	5.4

岐阜県 第12位
6店舗

	シェア
バロー	20.8
イオンビッグ	7.1
(生協)コープぎふ	6.7
～中略～	
平和堂	2.4

大阪府 第12位
22店舗

	シェア
ライフ	13.9
万代	13.3
イズミヤ・阪急オアシス	7.3
～中略～	
平和堂	2.5

石川県 第5位
7店舗

	シェア
アルビス	14.3
イオンリテール	12.6
マルエー	9.0
大阪屋ショップ	8.3
平和堂	7.5

愛知県 第12位
21店舗

	シェア
ユニー	10.2
フィール	7.8
バロー	7.1
～中略～	
平和堂	2.0

京都府 第3位
19店舗

	シェア
京都(生協)	13.2
マツモト	9.3
平和堂	8.5
ライフ	6.6
さとう	6.5

福井県 第3位
6店舗

	シェア
福井県民(生協)	15.7
バロー	13.1
平和堂	10.0
ヤスサキ	9.4
フード福井	5.2

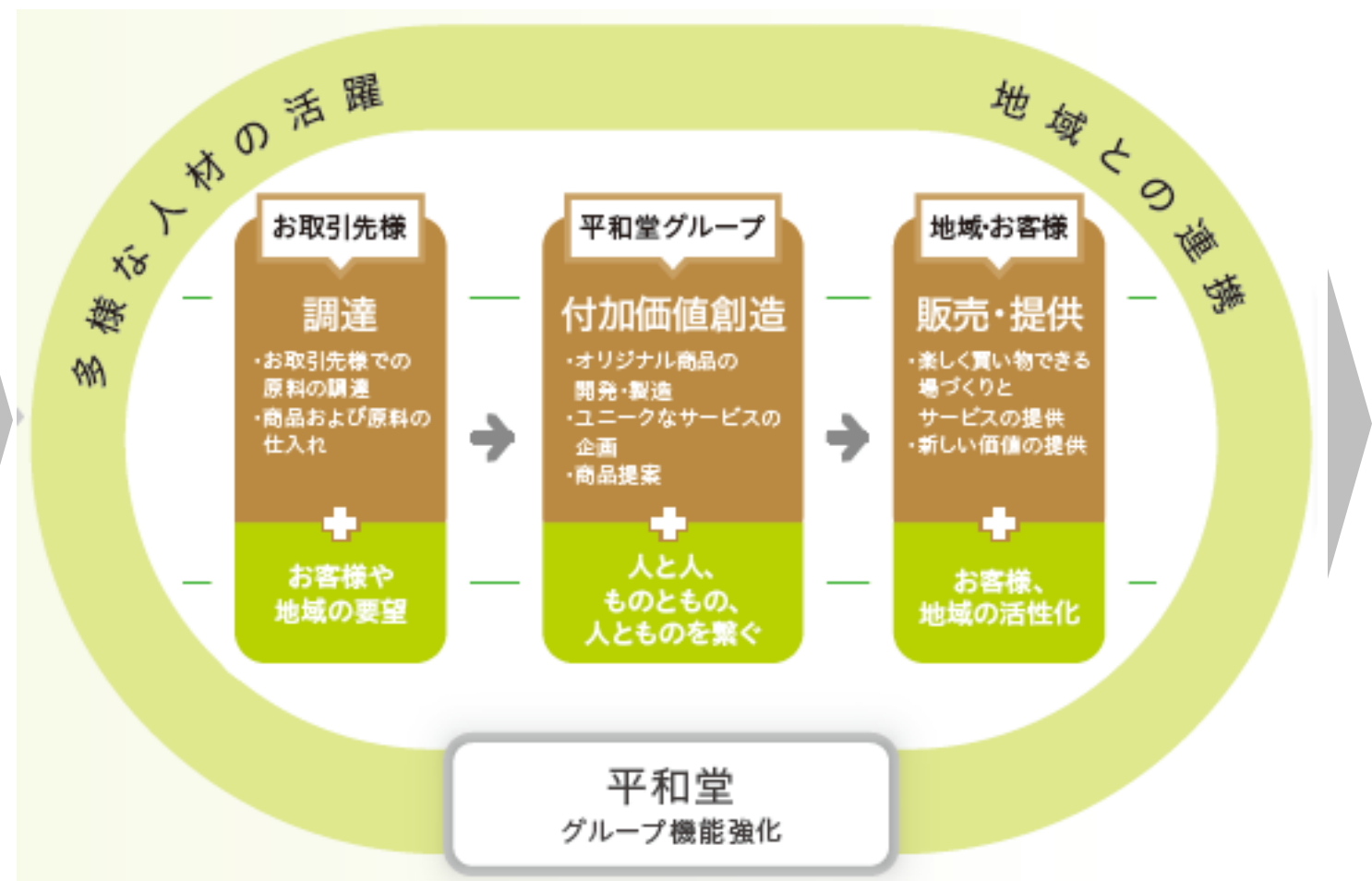
富山県 第10位
2店舗

	シェア
大阪屋ショップ	29.6
アルビス	21.6
バロー	6.8
～中略～	
平和堂	2.9

平和堂の紹介 ～グループの価値創造～

平和堂グループは「100年企業」を実現するため、事業を通じた「地域社会の課題」「地球規模の課題」の解決とグループの成長の両立を目指します

- 財務資本
安定的な財務基盤
- 人的資本
地域の暮らし全般に関わる多様な価値を提供できる人材
- 知的資本
多様なチャンネルをベースとした平和堂グループビジネス
- 製造資本
近畿・北陸・東海エリアでのドミナント展開
- 社会・関係資本
地域社会、行政との連携
お取引先様満足度
- 自然資本
温室効果ガス削減、リサイクル推進など



多様なチャンネルをベースとした平和堂グループ全体での地域に密着した機会・場の提供 (2026年2月末現在)

- ▶営業収益(連結)
4,560億円
(前年比102.5%)
- ▶多様な人材が活躍する職場
女性管理職比率
11.6%
(当社基準)
- ▶HOPカード経済圏の拡大
ハウス外利用時のHOPポイント付与
- ▶当社こだわりブランドの拡大
くらしモア・E-WA!売上高
554億円

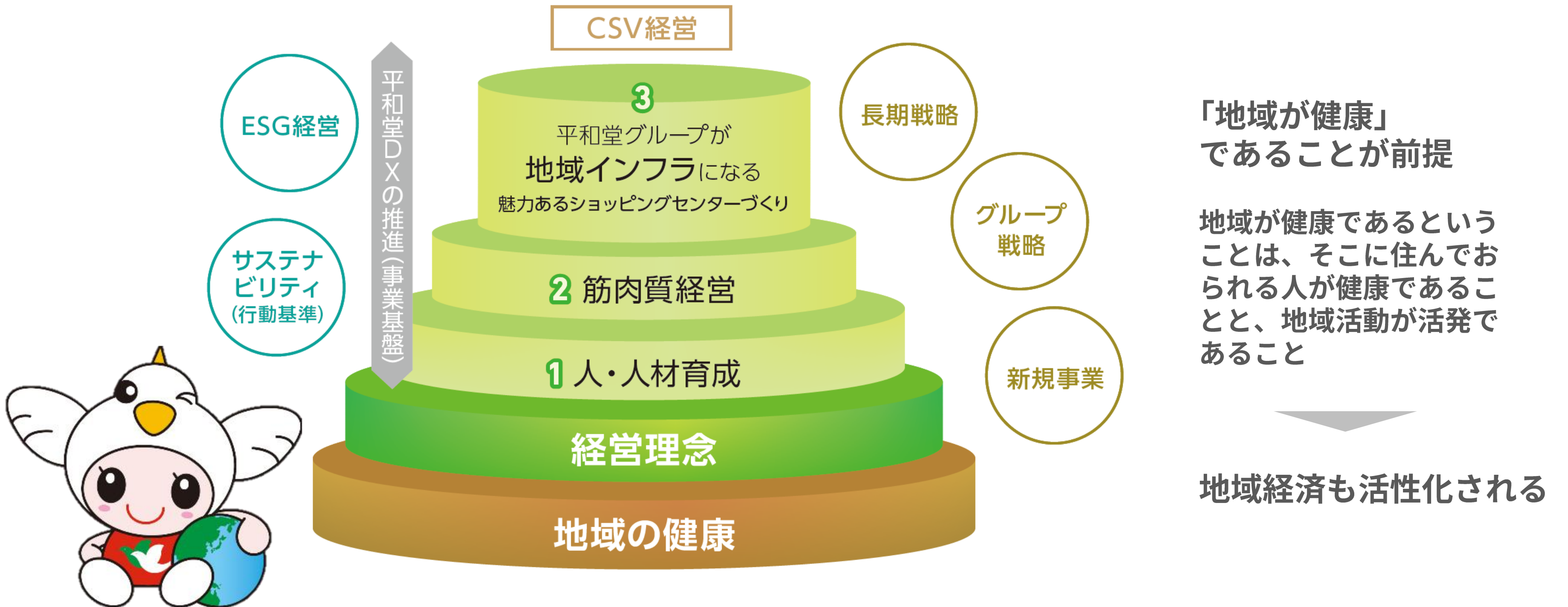


ありたい姿

平和堂グループ憲章
全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに、お客様と地域社会に貢献し続ける企業となる

平和堂の紹介 ～グループの中長期ビジョン～

平和堂ならではの「地域密着ライフスタイル総合（創造）企業」を目指す



平和堂の紹介 ～グループの中長期ビジョン～

平和堂ならではの「地域密着ライフスタイル総合（創造）企業」を目指す

平和堂グループの存在意義

平和堂グループは、

『地域のインフラとして、生活全般に関わり、地域とともに社会的課題の解決に取り組む。そして、健全な社会環境の中で、多様な価値観が尊重され、誰もが住みやすく、“活気のある地域社会”と“豊かな暮らし”を実現する。』 に貢献し続ける

実現したい世界

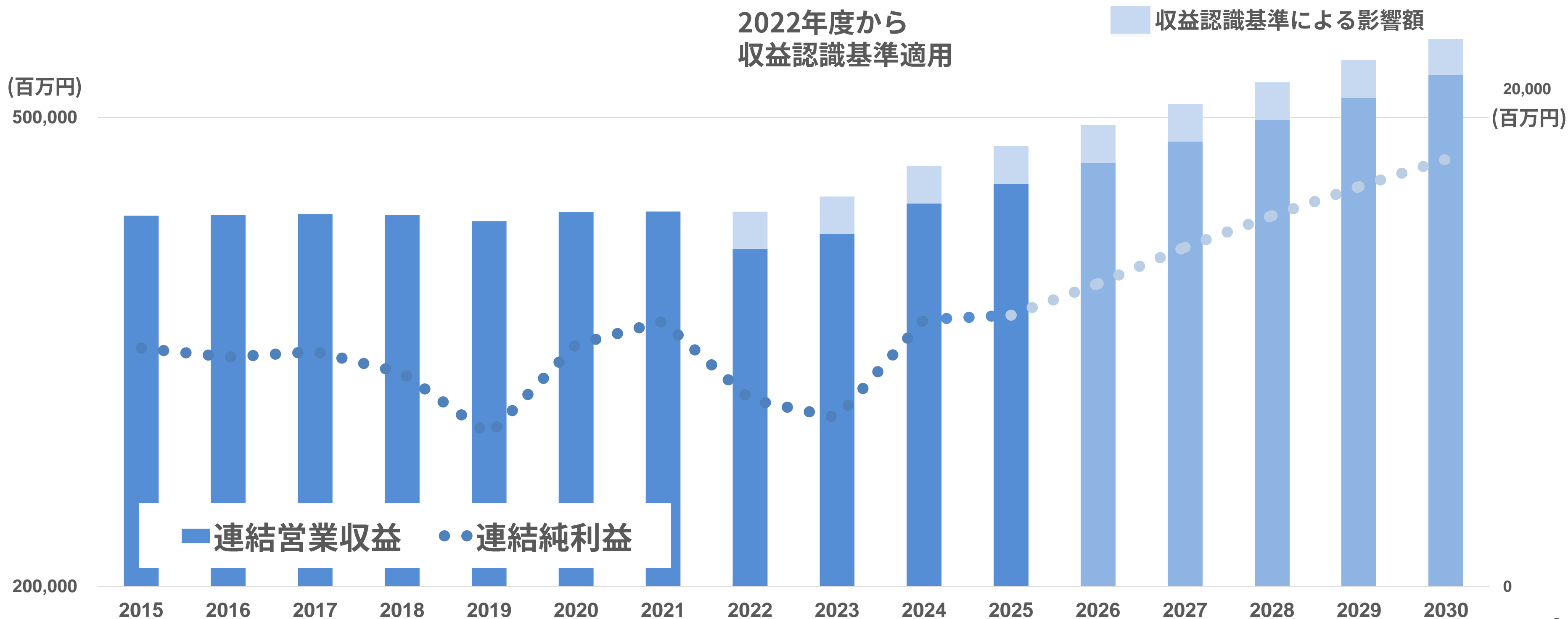
人々が暮らしていく中で、その地域が住みやすく、健康的で活気があり、助け合いの精神が息づいている。そのため、高齢者にとっても不自由の少ない、将来を担うお子様にとってもものびのびと育ち、子育て苦勞も軽減されるような環境、雰囲気がある地域の文化を大切にし、環境の保全の意識も高く、生活の質が高い。それらの状況は、活発な地域交流と心地よい人と人の繋がりがもたらす。



2. 業績の推移

業績の推移

第5次中期経営計画を推進し、社会課題の解決と企業の成長を両立させることで、2030年のありたい姿を実現します



2025年度の業績

連結は増収減益、単体は増収増益。
営業収益は、連結・単体ともに、過去最高。

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
連結	456,010百万円 前期比 102.5%	13,313百万円 前期比 99.6%	14,605百万円 前期比 99.8%	9,409百万円 前期比 87.7%
単体	422,251百万円 前期比 104.6%	10,340百万円 前期比 100.1%	12,165百万円 前期比 100.5%	9,540百万円 前期比 108.0%



3. 第5次中期経営計画

2030年定量目標

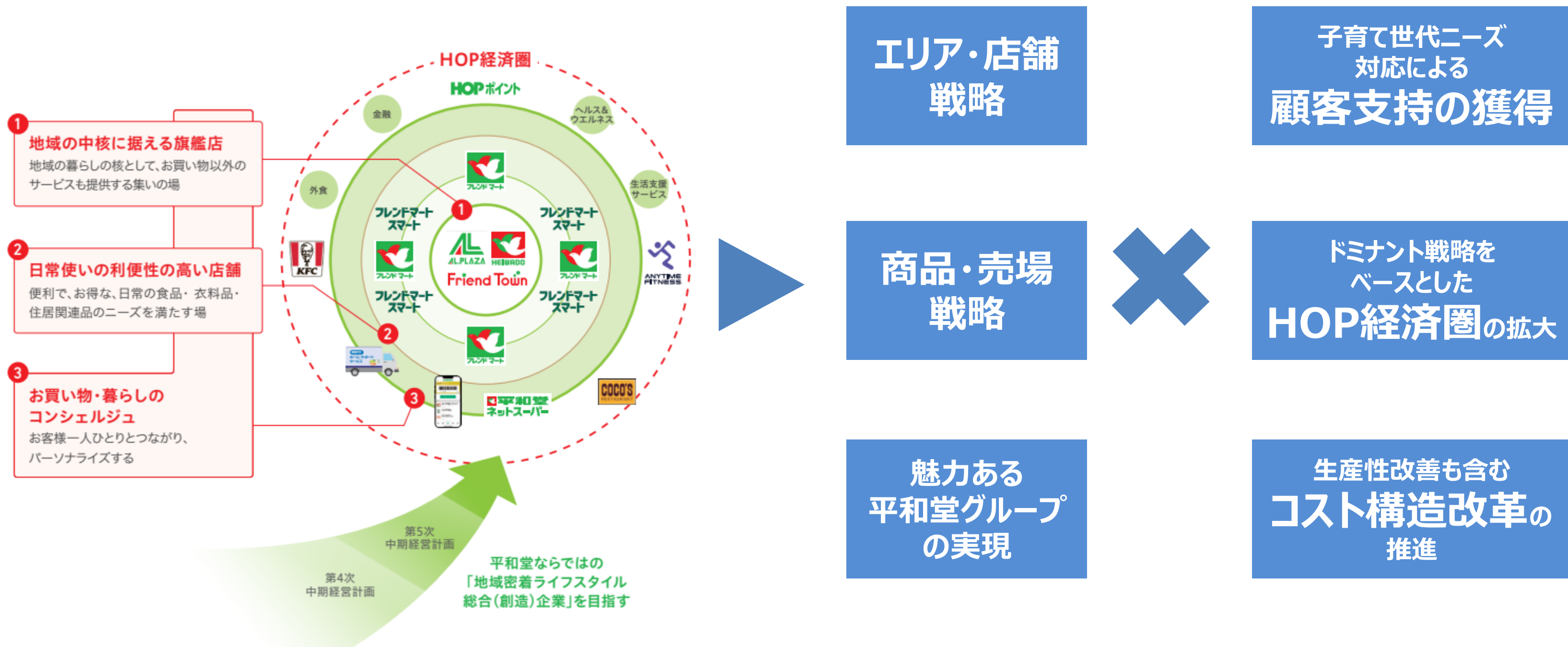
2030年に向けて成長を加速すると同時に、株主の皆様への安定的な利益還元を目指します

2030年の定量目標		2025年度実績
営業収益(連結)	5,000億円以上	4,560億円
営業利益率(連結)	4.5%以上	2.9%
ROE	8%	4.9%
女性管理職比率	20%以上	11.6%
CO2排出量(Scope1・2)	46%削減(2013年度比)	30.0%削減
食品廃棄額	50%削減(2019年度比)	29.5%削減



2030年に向けてありたい姿

- ▶ 様々なお買物のニーズやシーンに応える複数のフォーマットを構築・展開し、平和堂ならではのドミナントモデルでHOP経済圏を構築・拡大
- ▶ 従来のお客様支持を更に高めながら、子育て世代の支持を一層高める



グループの中核である小売事業の強化に資する重点戦略

子育て世代ニーズ対応
による顧客支持の獲得

頻度品の価格対応や食品の
大容量パックの拡充

くらしモア
(ニチリウグループ)



大容量や
KVI(キーバリューアイテム)

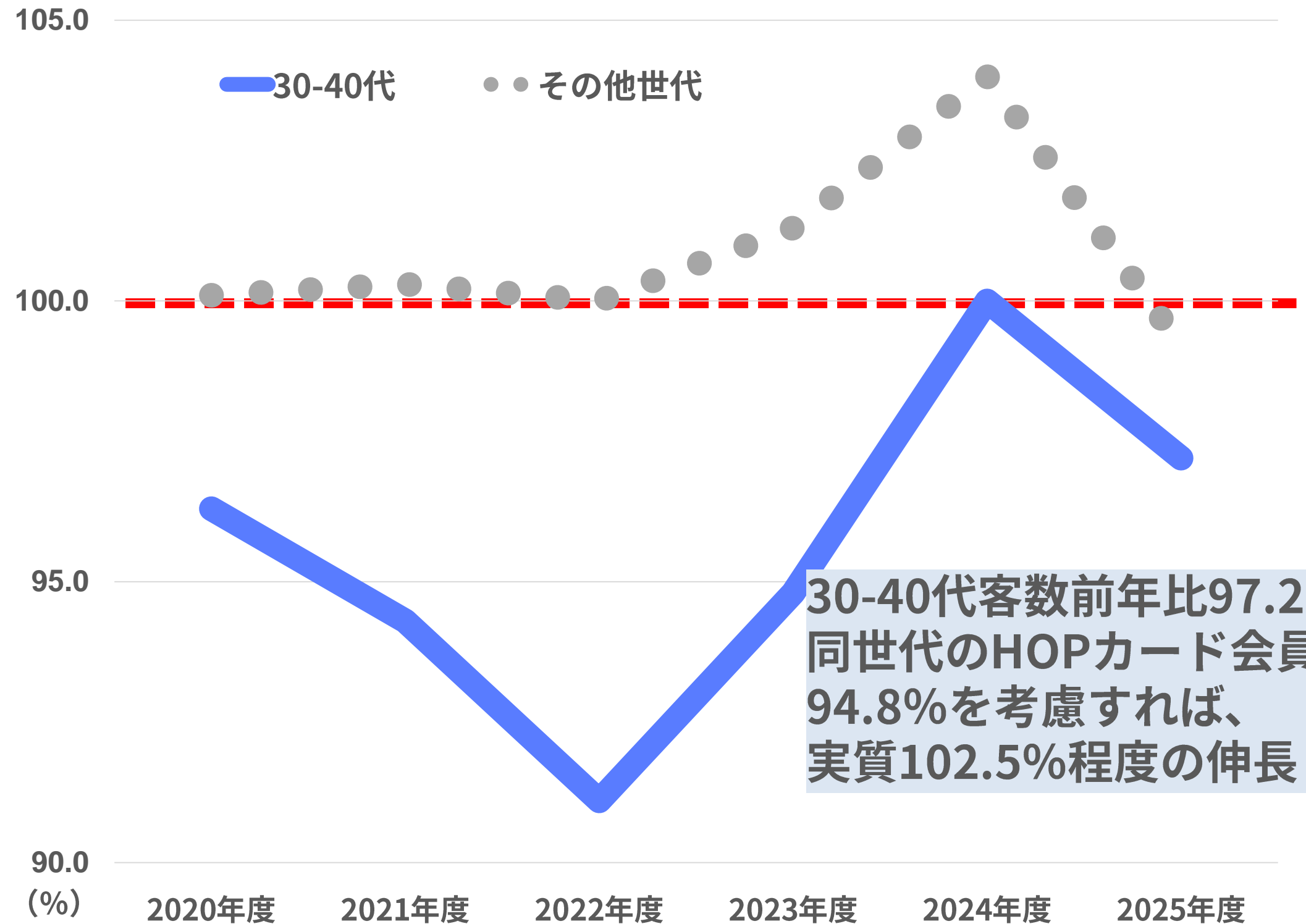


世代に支持のあるテナントの誘致と
衣食住売場の改革



世代別客数前年比 推移

※ 閏年影響2024年度+0.2%、2025年度△0.2%



グループの中核である小売事業の強化に資する重点戦略

子育て世代ニーズ対応
による顧客支持の獲得

アプリを活用した
コミュニケーションの強化



平和堂、アル・プラザ、
フレンドマートで使える
平和堂公式アプリ

HOPアプリ

アプリ1つでポイントやお支払いをひとまとめ
あなたにぴったりのお得な情報をお届けします。

スマホで
HOPカード

オンラインからHOP会員登録ができて、
アプリがHOPカードの代わりに、
お買い物でHOPポイントが貯まる。



スマホで
HOPマネー決済

アプリでHOPマネー支払いができる。
HOP-VISAや銀行口座の登録で
いつでもマネーチャージ。



スマホに
HOPな情報が届く

チラシ、キャンペーンなどお得情報を
チェックできる。あなたにぴったりの
心はずむHOPな情報や特典が届く。



HOP会員 **414万**人

HOPマネー銀行口座振替チャージ
可能銀行の拡大



HOPアプリ
会員数

138万人

HOPアプリ提示での
HOPマネー決済率

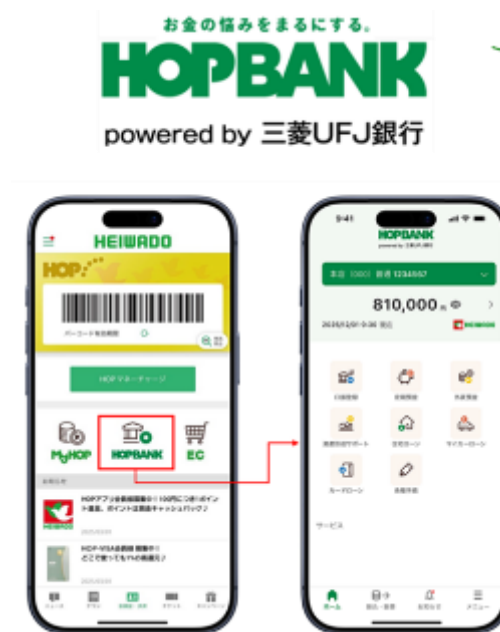
22.2%

18歳以下ご家族がいる会員様にお得情報の届く
らぶきっず会員 **22万**人

HOPBANK(ホップバンク)

スーパーマーケット業界初、BaaSによるフルバンキング型
個人向け銀行サービス（目標年間3万口座）

銀行との協業は、小売業にとって「単なるモノの販売」から
「顧客のライフスタイル全般を支援するサービス」へ
とビジネスモデルを進化させる大きなチャンス。
顧客の囲い込みや新たな収入源の獲得、
マーケティングの高度化などが期待できる。



- オンラインで口座開設・円預金 HOP
- 残高照会・入出金明細
- 給与 年金振込・口座振替 HOP
- 住宅ローン HOP
- 自動車ローン（※1） HOP
- カードローン（※2） HOP
- HOPマネー・チャージ HOP
- 平和堂主催 金融教育イベント HOP

(*1) 三菱UFJ銀行のネットDEマイカーローン
(*2) 三菱UFJ銀行のカードローン『バンクイック』

グループの中核である小売事業の強化に資する3つの重点戦略

ドミナント戦略をベースとしたHOP経済圏の拡大

新規出店により、エリアの拡大とドミナントの形成および深耕

■滋賀県内エリア補完

◆**フレンドマート**
八日市妙法寺店

(滋賀県東近江市)
2025年4月18日オープン

◆**フレンドマート今堅田店**

(滋賀県大津市)
2025年10月31日オープン

■建替え

◆**フレンドマート南郷店**

(滋賀県大津市)
2025年11月14日オープン

◆**フレンドマート守山駅前店**

(滋賀県守山市)
2025年11月28日オープン

■居抜き

◆**ニッケタウン稲沢店**

(愛知県稲沢市) アオキスーパー跡地
2025年12月12日オープン



既存店の改装も継続的に実施し、
30-40代の客数増とテコ入れ

■**フレンドマート能登川店** (滋賀県東近江市)

■**高富店** (岐阜県山県市)

■**アル・プラザ守山** (滋賀県守山市)

■**アル・プラザつかしん** (兵庫県尼崎市)

■**アル・プラザ小松** (石川県小松市)

■**アル・プラザ栗東** (滋賀県栗東市)

■**アル・プラザ宇治東** (京都府宇治市)

■**グリーンプラザ店** (名古屋市緑区) など



※写真はフレンドマート能登川店、高富店

2026年は2店舗新設予定

◆**アルプラフーズマーケット富山掛尾(仮)**

(富山県富山市)
2026年秋オープン予定 総投資額845百万円



◆**アルプラフーズマーケット高岡(仮)**

(富山県高岡市)
2026年冬オープン予定 総投資額2,691百万円





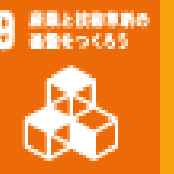


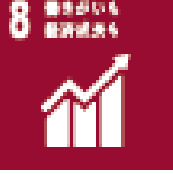


4. サステナビリティ ビジョンと取組み

サステナビリティの推進

平和堂グループのサステナビリティ・ビジョン

「地域社会の課題」・「地球規模の課題」の解決とグループの成長の両立を目指す
5つの重要課題ごとにテーマを設けて解決に取り組む

重要課題	テーマ	関連するSDGs項目
「地域の健康」の実現	人の健康／子育て支援／ 高齢者支援／地域の活性化	     
廃棄物の削減と資源循環の推進	プラスチック削減対策／ 食品ロス削減対策	 
脱炭素社会の実現	CO ₂ 排出量の削減	
安全・安心で持続可能な商品の調達	商品調達基本方針に 沿った商品の調達	  
多様な人材の活躍	女性の活躍／人材育成 健康経営	  

サステナビリティの推進

「地域の健康」の実現



以下、2025年度もしくは2025年度末時点の数値です。

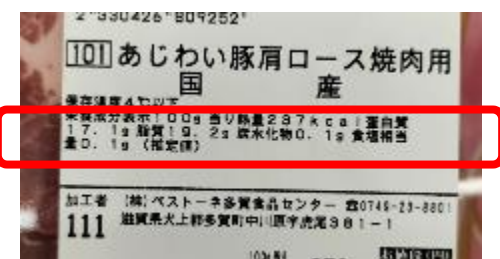
地域住民の健康推進

野菜摂取啓発取組み、表示による「健康」訴求



野菜の摂取量が測れる
「ベジチェック」設置
37店舗

POPや食品表示で栄養などが分かりやすく伝わるよう工夫



健康イベントの開催

地域の「人の健康」づくりをサポート



【開催店舗】
・ビバシティ平和堂
・グリーンプラザ店
・アル・プラザ宇治東

企業横断プロジェクト「PROTECT HEARTS PROJECT」に参加し、高血圧予防・啓発のイベントを3店舗にて開催

地域の子供たちが笑顔に

地域活性化イベントや環境学習の受入れ



大型店舗でお子様の年代に合わせたイベントを年間を通じて開催

環境学習
「おしごと&エコくらぶ」
年間参加者

1.3万人突破



サステナビリティの推進

脱炭素社会の実現

廃棄物の削減と
資源循環の推進

脱炭素社会の実現

年間Co2排出量

基準	2024年度実績	2030年度目標
2013年度CO2排出量 228,317t/CO2	160,133t/CO2 30.0%削減	2013年度比 46%削減

2024年度実績
2013年度比

30%削減

※平和堂グループscope1・2合計値
※最新のCO2排出量は平和堂ホームページにて随時更新

店舗の屋根や駐車場へのソーラーカーポートを設置やオフサイトPPAによる再生可能エネルギーの導入拡大



年間Co2削減量

△7,246 t-Co2

店舗の改装に合わせて省エネ性能の高い冷ケースへの更新や、既存冷凍設備の運用方法の見直しを実施



年間Co2削減量

△1,783 t-Co2

食品ロス削減・リサイクルの取組み

生鮮食品での消費期限の延長や、食品全体の客数予測の精度向上などの取組みを進めています

食品廃棄率
(2019年度基準)

29.5%削減



販売期限切れの精米を滋賀県・京都府社会福祉協議会に寄付
こども食堂などに役立ていただいています

寄付量 **795** kg

地域のリサイクル拠点として店頭回収ボックスを設置

回収量

食品トレー **282** t

透明トレー **245** t

ペットボトル **1,371** t



サステナビリティの推進

多様な人材の活躍

多様な人材の活躍

人事戦略の課題

企業理念・パーパスへの共感

エンゲージメントの向上

多様な人材の活躍

人材の採用・発掘・育成

働き方改革・業務効率化・労働環境改善

健康経営

人事戦略の重点取組み

平和堂フィロソフィの浸透

承認する文化の醸成

DE&Iの更なる推進

人材の獲得と育成

働きやすい職場の構築

健康経営の推進・労働安全

働きやすい職場の構築

育児や介護と仕事を両立しながらキャリアを築きたいCDコース社員を応援するため、短時間勤務制度を運用
2025年度からは、短時間勤務であっても主任や管理職として活躍できる環境づくりに取り組んでいます
この一環として「Work&Lifeシナジー研修」を実施



DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の更なる推進

多様な人材の活躍を推進し、持続的な成長を実現するためにDE&Iの考え方を浸透させていきます

女性活躍推進

・2024年2月より「ダイバーシティ推進課」を設置し、女性をはじめ多様な人材が生き生きとやりがいを持って活躍できる職場環境を目指し活動しています

女性管理職比率
(平和堂基準V級以上)

11.6 %

認知症サポーターの養成

店舗にご来店いただくお客様に快適にお買い物をしていただくための施策の一環として、2022年11月より、全従業員を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催
店舗従業員の半数以上が受講することを目標に取り組んでいます



認知症サポーター数

15,328 人

5. 株主還元

株主還元方針

2026年2月期は、「今回の株主還元方針の見直しに伴い配当性向30%以上を株主に還元する」

としたことに従い、中間配当**33円**、期末配当**33円** 年間**66円** とします

2025年2月期から2027年2月期の配当政策については「**累進配当**」 とします

余剰資本については、株主に還元し、財務規律は維持します

	2022/2	2023/2	2024/2	2025/2	2026/2	2027/2予想
当期純利益(百万円)	10,647	7,516	6,774	10,727	9,409	9,800
1株当たり配当金(円)	42	42	42	63	66	66
配当性向(%)	20.7	29.3	32.5	30.1	34.9	33.3

配当利回り 約**2.5%**
(2026/5/20地点)

➤株主還元強化のため、継続的な自社株買い・株主への還元施策を検討してまいります

株主優待制度

対象の株主さまへ「株主様ご優待券（額面100円）」または「デジタルギフト」のいずれかを贈呈いたします。長期保有の方には優待券(デジタルギフト)追加の贈呈をいたします

対象となる株主さま

毎年2回（2月20日、8月20日）現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式を100株以上保有する株主さまを対象といたします

所有株式数	1回当り贈呈額	長期保有制度(+1,000円分)
100株～299株	1,000円のご優待券	
300株～499株	3,000円のご優待券	4,000円のご優待券
500株～999株	5,000円のご優待券	6,000円のご優待券
1,000株～1,999株	10,000円のご優待券	11,000円のご優待券
2,000株～2,999株	20,000円のご優待券	21,000円のご優待券
3,000株～3,999株	30,000円のご優待券	31,000円のご優待券
4,000株～4,999株	40,000円のご優待券	41,000円のご優待券
5,000株以上	50,000円のご優待券	51,000円のご優待券

※ご使用方法は、1回のお買上金額（1枚のレシートの税込金額）1,000円以上につき1,000円毎に各1枚（100円券）ご利用いただけます



「デジタルギフト」をご希望の場合

100株～999株
500円のデジタルギフト
1,000株以上
2,000円のデジタルギフト
※長期保有の方には+500円

※様々なQRコードやポイントの優待を選択いただけます

株価の動向

平和堂（8276）と日経平均株価の推移



ご清聴ありがとうございました



株式会社平和堂
総務部・経営企画部・財務部
IRチーム

0120-668-852

<https://www.heiwado.jp/info/form>

投資家の皆様にお役立ていただける当社企業情報を

下記ホームページにてご覧いただけます

<https://www.heiwado.jp/company>

